

## バッテリー交換簡易マニュアル提案資料

トヨタ ヴィッツ (KSP13#, NCP13#, NSP13#系)

### ■該当車両

車両型式	排気量(cc)	エンジン型式	仕様	バッテリー型式
DBA-KSP130	1000	1KR-FE	アイドルストップ付き	Q55
DBA-NSP130	1300	1NR-FKE	アイドルストップ付き	S-85
DBA-NCP131	1500	1NZ-FE	アイドルストップ付き	Q55

### ■バッテリー交換

#### 作業前の注意

1. バッテリーを交換する場合は、IG OFFおよびライティングスイッチをOFFにし、ターミナルのナットを完全にゆるめて、こじらないように行う。
2. バッテリーマイナスターミナルを切り離すと、メーターやオーディオなどのメモリーが消去するので、事前に内容を確認する。
3. バッテリーマイナスターミナルの脱着時に設定作業(初期化作業)の必要となるシステムがあるので、確実に実施する。

#### 交換作業

1. +ターミナルのカバーを開け、+一両ターミナルを固定しているナットを緩める。
2. バッテリーを固定している金具をはずす。
3. バックアップ電源をバッテリーの配線につなげる。
4. バックアップ電源が外れないように注意しながら、バッテリーからターミナルを外す。
5. バッテリーを取り外し、新品バッテリーと交換する。
6. 上記の1~4を逆の手順で行い、バッテリーを取り付ける。

#### 締め付けトルク

バッテリー固定金具： ナット=xxx N・m

バッテリーターミナル： ナット=xxx N・m、ボルト=xxx N・m

### ■初期化作業

バックアップ電源を使ってバッテリー交換しても、「電流積算値初期化」作業が必要です。

#### 電流積算値初期化

##### 参考：

バッテリーを充電または交換をした場合、電流積算値の初期化を行う。  
(データモニタ項目[電流積算値]が0以上の場合は初期化は不要である。)

- a. GTSをDLC3に接続する。
- b. IG ONにする。
- c. GTSをONにする。
- d. GTSを使用して以下のメニュー項目を選択し、実行する。：パワートレイン / ストップ&スタート / 作業サポート / 電流積算値初期化

※「GTS」とは、トヨタ自動車用のメーカー製故障診断器です。

バッテリー交換時にバックアップ電源無しで作業したり、作業の途中でバックアップ電源が外れたりした場合、以下の作業も必要になります。

#### アイドルスタートシステムの再開

バッテリーの端子を切り離した場合、リフレッシュ充電が完了するまで、ストップアンドスタート制御が禁止される。その場合、ストップアンドスタート制御が作動するまで、約5分から40分間(RX200tは最大60分間)車両走行を行い、リフレッシュ充電を完了させる。

##### <追加情報>

リフレッシュ充電とは、バッテリー保護のため約30時間走行毎に30分から1時間程度実施。  
リフレッシュ充電完了のインジケータなどは無し(OM確認済み)

#### ステアリングセンサ0点補正

補機バッテリーterminal脱着時には、一時的にレーンキーピングアシストシステム、レーンディパーチャーアラートシステム(車線逸脱警報)、プリクラッシュセーフティーシステム、インテリジェントクリアランスソナーシステム、シンプルパーキングアシストシステム、アダプティブハイビームシステム、コーナリングランプなどが機能しなくなるので、ステアリング0点補正を行う。

##### 1.ステアリングセンサ0点補正

- a. ハイブリッドシステムを始動する。
- b. メータ車速35 km/h以上で5秒以上直進走行する。
- c. IG OFFにする。